

学力の向上



当初予算主要事業 教育委員会 4、5、11、12頁【予算額 合計 1,539,604千円】

学力向上推進プロジェクトチーム(224-2931) 小中学校教育課(224-2963)
研修推進課(226-3572) 研修企画・支援課(226-3428) 教職員課(224-2958)

学校では、全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック、ワークシートの3点セット等の年間を通じた計画的な活用や教育支援事務所を中心としたオーダーメイドの支援、民間企業と連携した数学的思考力を育む教材の研究・開発等を通して、授業改善等の取組を深めます。家庭・地域では生活習慣の確立等の取組を広げ、家庭の状況により対応が難しい問題については、地域による学習支援等により、地域で支えるという方向性を基本として取り組んでいきます。

授業力の向上

学力向上支援事業

【予算額:37,077千円】

- ・全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック、ワークシートの3点セット等の年間を通じた計画的な活用など、PDCAサイクルによる早期からの授業改善等により、子どもの達成感、学習意欲を向上

小中学校指導運営費

【予算額:4,142千円】

～教育支援事務所による支援～

- ・小規模な市町教育委員会に対し、教育支援事務所(県内3か所)が学力向上に係るオーダーメイドの支援を行う

教職員研修事業

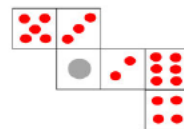
【予算額:29,480千円】

- ・教員育成指標をふまえ、教科や領域、今日的な教育課題等に対応する研修を実施し、教職員の授業力や専門性の向上を図る

(新)わかる・できる「育成カリキュラム」構築事業

【予算額:551千円】

<経年的な課題> 算数「割合」「図形」のつまずき



- 小学校1年生から6年生までの系統的な「育成カリキュラム」を構築
「割合」「図形」に対応する教材と指導のポイント等をパッケージ化
- 数学的思考力育成のノウハウを持つ講師による講演会の開催
- 数学的思考力を育成するWEB教材の開発とモデル校での実践研究
～民間企業との包括協定に基づき、ゼロ予算で実施～

少人数教育推進事業

【予算額:1,456,849千円】

- ・小学校1年生の30人学級(下限25人)(定数25人)
- ・小学校2年生の30人学級(下限25人)と36人以上学級の解消(定数80人)
- ・中学校1年生の35人学級(下限25人)(定数55人、非常勤30人)* 実情に応じて2,3年生への振替可
- ・チーム・ティーチングや習熟度別少人数指導などの少人数授業のための教員配置(定数52人、非常勤235人)
- ・これまでの実践推進校での少人数指導の取組をふまえ、効果的な少人数教育を推進

地域の教育力の向上

三重県型コミュニティ・スクール構築事業

【予算額:11,173千円】

○三重県型コミュニティ・スクール

- ・地域住民等が学校運営や教育活動に参画・協働する仕組みを拡充
- ・学校や地域の事情に応じた多様な取組をサポート

○地域未来塾

- ・学習支援12市町で実施(2市町増)

○学校支援地域本部

- ・地域のボランティアと協働で実施15市町で実施(1市町増)

みえの学力向上県民運動推進事業

【予算額:332千円】



- ・みえの学力向上県民運動推進会議の開催による取組の検証・改善
- ・生活習慣・読書習慣チェックシートの実施による改善

グローバル人材の育成

当初予算主要事業 教育委員会 5、6、12頁【予算額 合計 165,445千円】
高校教育課(224-3002)、小中学校教育課(224-2963)、教育政策課(224-2951)

サミットの資産を次世代に継承していくため、子どもたちが自らの考えを伝え、自らのアイデンティティを持ちながら異なる文化・伝統に立脚する人々と協働したり、海外に触れる機会を提供し、外国語で積極的にコミュニケーションを図る力や、地域の課題に対し考え行動する意欲・態度を育み、地球規模の視野で物事を考え地域の視点に立って行動し、将来社会で活躍できるグローバル人材を育成します。

主体性 (Independence)

さまざまな課題に対して自ら考え挑戦し、未来を切り拓いていく力

世界へはばたく高校生育成支援事業 【予算額 16,679千円】

- ・みえ自然科学フォーラムの開催
- ・科学の甲子園全国大会三重県予選の開催
- ・国際科学技術コンテストへのチャレンジ支援



共育力 (Mutual-growth)

郷土への愛着と誇りを持ち、異なる文化・伝統に立脚する人々と共生・協働する力

(一部新)「挑戦・交流・進化」で紡ぐ職業教育推進事業 【予算額 26,069千円】

- ・先進的で卓越した取組に挑戦する学校への支援
- ・人材不足の看護・介護の実習の実施
- ・すべての県立農業高校(5校)でGAP教育を推進
- ・海外インターンシップの実施 (工業高校専攻科、家庭科(食物))

GAP認証取得や
福島県高校生との切磋琢磨



未来を拓く職業人育成事業 【予算額 4,788千円】

- ・県内外の高校生が地域と未来について共に考える「高校生地域創造サミット」の開催
- ・地域や企業と連携した高校生による地域活性化プランの考案・実践
- ・企業との連携による商品開発等、みえの食を担う高校生の育成

みえの担い手育成推進事業 【予算額 26,934千円】

- ・地域で活躍する職業人による出前授業
- ・地域の事業所と連携したインターンシップ等
- ・外部人材を活用した就職支援・職場定着支援

共育力 (Mutual-growth)

郷土への愛着と誇りを持ち、異なる文化・伝統に立脚する人々と共生・協働する力



語学力 (English)

国際的共通語である「英語」によりコミュニケーションを図り行動する力

- ・レベル別のオールイングリッシュのセミナー
- ・CAN-DOリストを活用した英語教育改善
- ・スピーキング・ライティングの指導と評価の研究



(一部新)三重の英語教育改革加速事業 【予算額 1,780千円】

- ・3中学校区を指定した授業改善モデルの開発
- ・郷土の魅力を英語で発信するワン・ペーパー・コンテストの開催

教育効果の向上の観点から
民間教育サービスと協力



魅力ある学び場

地域の担い手即戦力の育成



四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科
平成30年4月開設

専攻科整備事業【予算額 89,195千円】

- ・実習設備の整備等

<大学や企業との連携による取組>

- ・協働パートナーズ(仮称)登録企業の協力のもと実施するインターンシップ、企業研修
- ・鈴鹿大学との協定に基づく英語講座の受講

世界でも地域でも活躍できる人材の育成

特別支援教育の推進

当初予算主要事業 教育委員会 9、12頁

【予算額 合計36,490千円】

特別支援教育課(224-2961)、研修推進課(226-3572)

三重県特別支援教育推進基本計画に基づき、教員の専門性の向上を図るとともに、早期からの一貫した支援体制の充実や障がいのある子どもたちの自立と社会参画に向けた取組を進めるなど、インクルーシブ教育の理念をふまえつつ、医療や福祉等の関係機関と連携し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進します。

特別支援教育の推進

◇早期からの一貫した教育支援体制整備事業

[予算額 20,561千円]

○早期からの一貫した教育支援体制を整備

- ・ パーソナルカルテの活用促進
- ・ 発達障がい支援員3名による巡回相談および支援情報の円滑な引継ぎの充実
- ・ 通級指導担当教員等の専門性の向上
- ・ 特別支援学校のセンター的機能による支援
- ・ 市町教育委員会と連携した就学支援
- ・ スポーツ活動を通じた障がい者理解の推進(交流及び共同学習の充実)
- ・ 発達障がいのある児童生徒への教科指導法の研究・開発



県立松阪あゆみ特別支援学校
平成30年4月開校

◇特別支援学校メディカル・サポート事業

[予算額 6,334千円]

○医療的ケアを安全に実施するための体制を整備

- ・ 実施校：特別支援学校11校
- ・ 常勤講師(看護師免許有)および教員が連携した医療的ケアの実施
- ・ 医療的ケアに係る知識・技能を習得するための基本研修および実地研修の実施
- ・ 医師等と連携した校内支援体制の充実



◇特別支援教育に係る教職員研修

(教職員研修事業の一部(再掲)) [予算額 203千円]

○発達障がい等に係る教職員の資質向上

- ・ 発達障がい等のある児童生徒を理解・支援するための教職員の経験年数や職種に応じた研修
- ・ 特別支援学級等の新担当教員が特別支援学級経営や障がいの特性に応じた適切な支援を学ぶ研修

進路希望の実現

◇特別支援学校就労推進事業 [予算額 9,392千円]

○外部人材を活用した支援を実施

- ・ 生徒の適性を把握し、適した職種・業務と支援方法を企業に提案する形の職場開拓(キャリア教育サポーター5名を配置)

○特別支援学校版キャリア教育プログラムに基づく取組の推進

- ・ 職業適性アセスメントの活用を促進
- ・ 技能講習、技能検定を実施(清掃、看護・介助補助業務)

にーまるいちほち
**「2018 彩る感動 東海総体」と
 子どもの体力向上**

当初予算主要事業 教育委員会 7、8頁【予算額 合計 640,085千円】
 保健体育課(224-2973) 全国高校総体推進課(224-2838)

本年に開催する全国高等学校総合体育大会「2018 彩る感動 東海総体」について、選手が十分に力を発揮でき、多くの皆さんの記憶に残る大会となるよう、オール三重の力を結集して成功につなげます。

また、就学前から高等学校まで、子どもの発達段階に応じた運動習慣や生活習慣等の改善、体力向上に向けた学校等の取組を支援することにより子どもの体力向上を図るとともに、「三重県部活動ガイドライン」に基づき、運動部活動指導員の配置や外部指導者の派遣により指導体制を充実させ、教員の負担軽減を図ります。

インターハイの開催

◇平成30年度全国高等学校総合体育大会開催事業 【予算額 619,663千円】



- (1) 競技種目別大会の開催
 - ・14競技15種目の実施(8市町)
- (2) 総合開会式の開催(8/1 県営サンアリーナ)
 - ・高校生による式典運営(音楽、アナウンサー、誘導等)、
 - ・歓迎演技、選手団激励の実施
- (3) 高校生の企画運営によるインターハイの啓発・広報活動、おもてなし
 - ・100日前広報強化週間(4/7~4/17)におけるPR活動
 - ・総合案内所の制作・運営
 - ・総合開会式、競技種目別大会の運営補助
 - ・草花装飾



平成30年度
 インターハイでの
 活躍と大会の成功!

平成32年度
 全国中学校体育
 大会での活躍と
 大会の成功!

平成33年
 第76回国民体育大会
 「三重とわか国体」
 第21回全国障害者スポーツ大会
 「三重とわか大会」
 での活躍と大会の成功

平成32年
 東京オリンピック
 での活躍!

体力の向上

◇(一部新)みえ子どもの元気アップ運動部活動充実事業【予算額 10,688千円】 ◇みえ子どもの元気アップ体力向上推進事業【予算額 9,734千円】

【運動部活動指導員の配置】

- ・高等学校(5名)に配置、中学校(10名)の配置に係る市町への支援
 (指導員)単独で指導・引率が可能⇒(教員)部活動指導の負担軽減
 - 子どもと向き合う時間を確保
 - 未経験競技指導の負担を軽減
 - 技術の向上やけがの未然防止など部活動の質の向上

【運動部活動サポーターの派遣】

- ・高等学校(45名)および中学校(5名)に専門性を有する指導者を派遣

【運動部活動指導者研修会の開催】

- ・「三重県部活動ガイドライン」の浸透を図るとともに、適切かつ効果的な運動部活動の指導方法等の研修を実施

【元気アップコーディネーターの配置】

- ・各学校における体力向上に向けたPDCAサイクル(元気アッププランの作成、1学校1運動の取組、結果分析、改善)の確立に係る支援

【子どもの体力向上推進会議】

- ・市町教育長代表、医師会代表等で構成する推進会議において、子どもの運動・食・生活習慣の改善を総合的に推進する方策を検討

【元気アップ研修会による体育授業の充実】

- ・就学前、小・中・高等学校の教員等を対象とした元気アップ研修会を開催

誰もが安心できる学び場づくり

当初予算主要事業 教育委員会 【予算額 合計 1,516,935千円】
1,6,10,11,15頁 【平成29年度2月補正(その1)含みベース 合計 1,526,933千円】
生徒指導課(224-2332) 小中学校教育課(224-2963) 研修企画・支援課(226-3516) 教育総務課(224-3301) 学校経営・施設課(224-2955)

子どもたちが健やかに成長し、安心して生活できる社会をめざし、「三重県いじめ防止条例」に基づき、社会総がかりでいじめの問題の克服に取り組みます。また、幼児期において、生涯を通じて生きていく上で基礎となる力を育むとともに、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、効果的な指導法等について研究を行います。さらに、新たに教科となる道徳では「考え、議論する道徳」を学校全体で進め、よりよく生きようとする意欲と実践力を高めます。併せて、学校における防災教育・防災対策の充実など、子どもたちが安心して学べる環境づくりを推進します。

三重県いじめ防止条例に基づく主な取組

(新)いじめ対策推進事業 【予算額 1,822千円(H29年度2月補正(その1)含みベース 11,820千円)】

- ・「三重県いじめ防止条例」に係るフォーラムの開催及び周知啓発リーフレットの配付
- ・県内中高生対象のSNS相談窓口の開設と効果的な相談体制の研究
 - ・相談員(臨床心理士)が生徒とSNSで相談
 - ・緊急対応が必要な事案は関係機関へ依頼
 - ・適切な相談窓口の規模や体制を研究するとともに、そのほかの相談方法(電話、面談)も含めた効果的な相談体制を検討・構築
- ・弁護士と連携したいじめ防止授業の実施
 - ・弁護士が教員と連携しながら「いじめ事例別ワークシート」を活用した出前授業を実施
- ・中高生による「いじめをなくすためにできること」意見交流会



スクールカウンセラー等活用事業 【予算額253,198千円】

- ・スクールカウンセラー(臨床心理士等)を配置
スクールカウンセラーの配置校
小中学校 154全中学校区
高等学校 36校
- ・スクールソーシャルワーカー(社会福祉士等) 11名を配置(1名増)
 - ・社会福祉等の専門的な知識・技術による支援
 - ・福祉機関等の関係機関とのネットワークを活用

学校問題解決サポート事業 【予算額969千円】

- ・いじめなどの問題を抱える学校へスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、警察OB等からなるサポートチームを派遣
- ・必要に応じて、精神科医、弁護士、学識経験者等の専門家をサポートチーム員として派遣



インターネット社会を生き抜く力の育成事業 【予算額 1,838千円】

- ・「みえネットスキルアップサポート」による児童生徒のスマートフォン等の利用にかかる知識や理解の向上
- ・ネットパトロールの実施
- ・保護者等で編成する「ネット啓発チーム」による保護者への啓発

(一部新)幼児教育推進事業 【予算額 919千円】

- ・「保幼小接続カリキュラム」に基づく学識経験者と連携した自己肯定感ややり抜く力を高める指導法にかかる実践研究(4園)と成果の普及
- ・生活習慣チェックシートを活用した生活習慣の確立



(一部新)道徳教育総合支援事業 【予算額 8,132千円】

- ・実践推進校で「考え、議論する道徳」への質的な転換に係る研究と成果の普及
- ・道徳教育アドバイザー(2名)の派遣
- ・三重県道徳教育推進会議や道徳教育推進フォーラムの開催

防災教育・防災対策

学校防災推進事業 【予算額 17,387千円】

- ・防災ノートを活用した学習
- ・体験型防災学習等への支援
- ・東日本大震災の被災地での中高生のボランティア活動や交流学习
- ・学校防災リーダー等教職員研修

校舎その他建築費 【予算額 1,232,670千円】

- ・県立高等学校施設における屋内運動場等の天井等落下防止工事(13校24棟)等、既存施設の老朽化対策